

おすすめの本

「ちぎれた鎖と光の切れ端」

荒木あかね／著 講談社

孤島に集まった8人の男女。榎藤清嗣は自分以外の客を全員殺すつもりでいた。榎藤が逡巡していると滞在初日の夜、参加者の一人が舌を切り取られた死体となって発見された。たてつづけに第二第三の殺人が起きて…。

「からん家のまひろの章」

小路幸也／著 徳間書店

高校を卒業したばかりのまひろは、血の繋がらない祖母と暮らすことになった。自分に正直に生きてきた70代の女性と、彼女の家に下宿する個性的な面々との生活を描く家族小説。『読楽』連載を加筆修正。

「免疫をあやつる」

榎崎雅司／著 ミネルヴァ書房

免疫は病原体から身体を守る仕組みだ。免疫を強めたり弱めたりする薬が次々と登場し、多くの難治性疾患の治療に進歩がもたらされた。免疫の基本的な仕組みと免疫学の臨床応用を、阪大病院免疫内科の医師が解説する。

「レジンアクセサリーのきほん」

日本ヴォーグ社

LEDで硬化する1液性のレジン液を使用したレジンアクセサリーの作り方を紹介。ピアス、イヤリング、ネックレス、ブローチ、アクリルスタンドなど全35点を、すべて写真で解説します。

「20匹のおいづいあき」

たしろちさと作／絵 ひかりのくに

栗ご飯、きのこお芋の煮物、どんぐりと山ぶどうのケーキ、大きなきのこのバター焼き。ねずみの18匹きょうだいと、父ねずみ、母ねずみの総勢20匹の大家族は、実りの秋を満喫して…。『おはなしひかりのくに』を再編集。



「時間をやくパン屋さん」

キムジユヒョン／作 金の星社

10歳のピーターが見つけたパン屋には、変な名前のパンがいっぱい並んでいた。店の名前は「時間をやくパン屋」。パン屋のおじさんは、一人ひとりの注文を受け、その人の特別に記憶しておきたい時間をパンに焼くのだというが…。

「あしたへのまわり道」

梅田俊、梅田佳子／作 ポプラ社

いじめられているわけでも、勉強がきらいなわけでもないけれど、イクハルは時々学校を休む。この日もまた学校を休んで、町はずれの「アルテナイデ沼」に行くと、転校生で不登校のシュリと出会い…。著者夫婦の最後の共作。

★行事・お知らせ

●令和4年度の図書館の利用状況などをお知らせします。

町図書館利用状況などは次の表のとおりです。

図書館では、少しでも多くの情報・知識に触れられるよう、幅広いジャンルの図書を収集しています。趣味や健康関連の本もありますので、お探しの本などがある時はカウンターへお伝えください。

図書館 利用状況 (令和4年度)	
開館日数(日)	294
入館者数(人)	41,919
年間貸出(冊)	76,714
一般図書	35,099
児童図書(紙芝居含む)	36,339
雑誌	4,296
視聴覚資料など	980

令和5年度養老町図書館要覧より(令和5年3月31日現在)

図書館 利用登録者数・蔵書数	
町内図書カード登録者数(人)	16,474
町内登録率(%)	58.6
蔵書点数(点)	113,472
一般図書	69,777
児童図書(紙芝居含む)	36,036
雑誌・他(視聴覚資料など)	7,659
図書など年間受入点数(点)	3,710
町民一人当たりの蔵書(点)	4.3

町図書館ホームページや電話でも本の予約などができます。本の消毒などコロナ対策も行っていますので、ぜひ、図書館を活用ください。

令和4年度の利用状況はコロナ禍ではありましたが、増加傾向にありました。図書館の本は一人10冊まで2週間、CDは一人2点まで1週間借りられます。秋の夜長にCDを聴きながら読書してみませんか。

みんな本を読もう!



ひょうたん親子